



病診連携通信

第 30 号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂綜合病院
令和元年8月

脳梗塞の超急性期治療

脳が虚血状態に陥っても、一刻も早く適切に治療すれば後遺症なく回復することがあります。

■ Act-FAST

脳梗塞が疑われる症状(右記)をみたら
時間を確認して、救急要請してください。

Face : 顔のゆがみ

Arm : 片方の腕の脱力

Speech : 言葉のもつれ

Time : 時間を確認

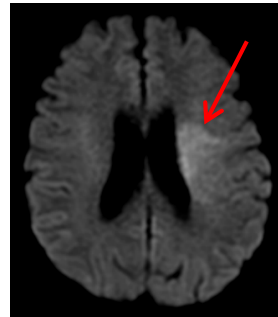


Act
救急要請

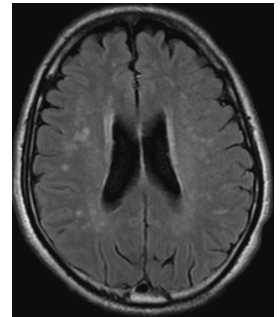
■ t-PA(血栓溶解療法)の適応拡大

2019年の脳卒中ガイドライン改定にて、
発症時間不明の脳梗塞でも MRI 画像で
DWI-FLAIR mismatch を呈する症例には
t-PA静注が認められるようになりました。

<67才 男性 : 失語症、右片麻痺>



DWI 高信号あり



FLAIR 高信号なし

DWI-FLAIR mismatch の虚血病変

■ カテーテルによる血栓回収療法

発症24時間以内の脳主幹動脈閉塞例で
はMRI 画像所見により急性期カテーテル
治療の対象になることがあります。



MRA 来院時
左中大脳動脈閉塞



t-PA投与後
血管再開通
症状改善!

■ 寿泉堂病院の脳梗塞治療体制

2台のMRI装置が常時稼働しており、迅速
で正確な画像診断が可能です。

脳神経外科医2名と神経内科医1名にて
脳梗塞の超急性期治療を行っています。

どうぞ、御一報ください。

脳神経外科 : 紺野 豊

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または

☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせください。